

クラスマッチの水泳で、極小水着から 乳丸出しの大ハプニング

これは私が中学 3 年生のときに体験した話です。

クラスマッチで、公衆の面前でとても恥ずかしい思いをしました。

私が通っていた公立中学では、年に 1 回、2 学期の初めごろに、クラスマッチというものがありました。

これは、学年ごとにクラス対抗で、3 種目のスポーツで勝敗を競うというものです。

私たちの学年は、全部で 8 クラスでした。

その中で、優勝チームに何ポイントなどが付与されていき、クラス全体でポイントを競うというものです。

種目はサッカーとバレーボールと水泳でした。運動場でサッカー、体育館でバレーボール、プールで水泳が行われます。

男女ごとに、それぞれ 3 種目に分かれて、1 人 1 競技に参加します。

1 年や 2 年のときも行われて、クラスでけっこう盛り上がるイベントではあったのですが、1 つだけ気がかりなことがありました。

それは、もし水泳に参加することになったら、同じ学年の人たちが見ている中で、水着姿で泳がないといけないからです。

もちろん水泳の授業で水着になることはあったのですが、クラスマッチの水泳では応援とい

う名目で、みんなに注目されてしまいます。

私のクラスの女子は 20 人いました。

それぞれの競技に参加する人数は、サッカーが 11 人、バレーボールが 6 人、水泳が 3 人でした。

女子はみんな水泳を嫌がりました。

なにせ同じ学年の男子たちに、水着姿をまじまじと見られてしまうからです。

それと、もう 1 つ、私が絶対に水泳を避けたい理由がありました。

それは私は巨乳だったからです。

自分でいうのもなんですが、私は中学生としては、かなり胸が大きい方でした。D カップが E カップくらいありました。

そのせいで体育の授業でランニングしているときなんかに、男子たちがニヤニヤしながら見てくるのがよくありました。

だから絶対に水泳は避けたかったのです。

中 1 と中 2 のときは、両方ともサッカーに参加し、水泳を避けられていました。

参加する種目を決める日がやってきました。

種目は立候補制で、定員以上の人が集まった場合は、じゃんけんになります。

といっても、水泳を希望する人は誰もおらず、サッカーとバレーに人気は集中します。

立候補は公平を期すため、紙が渡されて、そこに第 1 希望と第 2 希望を記入し提出するかたちでした。

私は第1希望をサッカー、第2希望をバレーと記入し、提出しました。

開票が行われて、第1希望のサッカー希望者が15人、バレーが5人で、水泳は0でした。サッカーは4人も定員より多いのでじゃんけんとなり、バレーの方はまず5人が確定しました。

私は失敗したと思いました。

第1希望をバレーにしていれば、1回目で決まったのにとと思いました。

でも、もう仕方ありません。絶対にじゃんけんに勝とうと思ってじゃんけんに臨みました。

人数が多くて、なかなかじゃんけんは決まりませんでした。

15人を5人ずつで分けたらどうかという案が途中で出ました。

でも、それだと分け方や勝ち残り方によって、不公平になる場合があるという反対意見が出て、15人全員でじゃんけんを何度も繰り返しました。

それだけ女子はみんな必死でした。とにかく水泳だけは避けたいと。

「おい、別に水泳でもいいじゃんか」「早く決めろよー」

「俺らがしっかりと水着姿見届けてやるからよー」

クラスの男子たちが、女子たちがじゃんけんしているのを見ながら、そんなことを言ってきました。

何度もあいこ状態が続いていたじゃんけんが突如、決着しました。

一瞬、みんな時間が止まったようになりました。

11 人がチョキを出し、4 人がパーを出していました。私は無情にもパーを出していました。

ぴったりと負ける 4 人が決まってしまいました。これで残るチャンスは、あと 1 枠のバレーボールのみとなりました。

じゃんけんを負けた 4 人は 4 人とも、第 2 希望はバレーでした。

この 4 人でじゃんけんとなりました。

今度はあっさり 1 回で決着しました。一人がグーを出し、私を含むあとの 3 人は、チョキを出していました。

「じゃあ、バレーは斎藤さん。水泳は〇〇さんと、宮間さんと、山添さんで決定です」

とクラスのまとめ役の女子、高峰さんが言った。

「おおっ。水泳、〇〇さんと宮間さんと山添さんか。いいじゃん、いいじゃん」とさっき冷やかしの言葉を言っていた男子が言った。

「いいじゃんってどういうことよ」と高峰さんが尋ねた。

「いいはいいっていうことよ、なあ」とその男子は、周りにいる男子に同意を求めた。男子たちはみんなにやにやしている。

どうせ巨乳の私に決まってうれしいといったところだろう。

それに同じく水泳になってしまった宮間さんと山添さんは美人だ。男子たちは、それで喜んでいるんだろう。

私は最悪の気分でしたが、決まってしまった以上はやるしかありません。

ただみんなの前で泳ぐだけだと自分に言い聞かせました。

普段の水泳の授業は女子の多くは見学します。1年で最低1回は、プールの授業に参加しないといけないという決まりがありましたが、逆に言えばそれ以外の授業は見学してもいいのです。

私も、今年のプールの授業は1度出ただけでした。でもその1度だけ出たときもやはり、男子たちが私のことを特に見てきました。

プールの授業は、2クラス合同で行われるので、2クラスの男子たち、40人くらいに視姦されました。

私の自意識過剰かもしれませんが、明らかに私に視線が集中していたように思います。

今度のクラスマッチでは、40人どころかもっと多くの人の目にさらされることになる。

そう考えるとやっぱり憂鬱な気持ちになりました。

学校ではスマホの持ち込みは建前としては禁止になっています。

でも、実際のところ、中学生ともなれば、全員スマホを持っていますし、学校にも持ってきています。

先生に見つからないところで、普通にみんな使っています。

当然撮影も禁止なのですが、去年や一昨年の水泳のレースのときに、こっそりと撮影していた男子が数人いたようです。

その画像や動画には、女子の水着姿がおさめられていたそうです。

その画像が男子の中で、拡散されていたという話も聞いたことがあります。

プールの授業のときのように、何かしら理由をつけて見学するという手もなくはないのですが、それには障壁がありました。

エントリーしていた人が出場できない場合は、棄権となるどころか、クラスにマイナスポイントが課されるのです。

棄権したらマイナス 3 ポイントです。

水泳では、8 クラスの代表者のレースで 1 位になると 8 ポイントが得られます。

順位に応じたポイントが加算され、最下位でも 1 ポイントが得られます。

だからマイナス 3 ポイントというのは、かなり大きいのです。

普通なら最低でも 1 ポイントが得られるわけですから。

クラス対抗での争いなので、やはり棄権はできません。

クラスマッチの当日になりました。

クラスマッチは、一日を通して行われます。

水泳は参加人数が他の競技に比べると少ないので、午後のみの実施でした。